

令和5年度第3回 函館市企業局経営懇話会 会議録

【開催日時】 令和6年3月28日（木） 午後14時00分～午前14時50分

【開催場所】 函館市企業局庁舎4階大会議室（アクロス十字街）

【次第】

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 令和6（2024）年度企業局各会計予算の概要について
 - (2) 函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理について
- 3 その他
 - (1) 能登半島地震に伴う応援活動について
 - (2) 所要時分の見直しに伴う運行ダイヤの改正について
 - (3) 令和5年5月6日発生の市電脱線事故に係る原因と再発防止について
 - (4) 函館市電位置情報検索システムの導入について
 - (5) 令和6年3月4日発生の市電脱線事故に係る概要について
 - (6) 函館市交通事業経営ビジョンの再改訂について
- 4 閉会

【出欠状況】

■委員（出席12名）

（○は出席，敬称略）

所 属 団 体	氏 名	欠	所 属 団 体	氏 名	欠
公立はこだて未来大学	白石 陽	—	函館東商工会	畠山 晴一	—
北海道大学名誉教授	三浦 汀介	○	連合北海道函館地区連合会	黒瀧 浩二	○
北海道税理士会函館支部	半浦 明美	○	函館商工会議所	竹内 正幸	○
北海道電力ネットワーク株式会社	喜多村 悟	○	函館水産連合協議会	吉村健太郎	—
函館市社会福祉協議会	佐藤 秀臣	○	函館地区バス協会	渡部 浩典	○
函館市女性会議	佐々木 香	○	函館湯の川温泉旅館協同組合	大桃 誠	○
函館市町会連合会	江頭 進	○	一般公募	山本 秀治	○
函館消費者協会	森元 浩	○			

■事務局（出席25名）

手塚企業局長

- ・ 管理部 万丈部長，臼杵次長，高野総務課長，田原経営企画課長，中村経理課長，川井料金課長，小辻収納・滞納整理担当課長，経営企画課4名
- ・ 上下水道部 伊藤部長，高木次長，川村管路整備室長，佐野業務課長，川尻計画担当課長，丹内建設担当課長，加地維持管理担当課長，西谷浄水課長，濱坂終末処理場長
- ・ 交通部 小笠原部長，廣瀬次長，向出安全推進課長，湊事業課長

【会議発言概要】

1 開会

経営企画課長 これより令和5年度第3回函館市企業局経営懇話会を開会いたします。
本日は年度末で、大変ご多忙中のところご出席をいただきまして誠にありがとうございます。白石委員、吉村委員、畠山委員におかれましては、所用のため欠席されますことをご報告させていただきます。
また、当懇話会の会議録につきましては、後日公表となりますことをご了承いただき、ご発言の際にはマイクをお使いいただきますようよろしくお願い申し上げます。

次第2の報告事項でございます。ここからの進行を三浦会長にお願いしたいと思います。それでは、三浦会長よろしくお願い申し上げます。

2 報告事項

三浦会長 それでは、次第2の報告事項でございます。
令和6年度企業局各会計予算の概要について事務局から報告をお願いいたします。

経理課長 <資料説明 別添資料>

三浦会長 ただいま事務局から報告がございましたが、各委員の方から質問がございましたらよろしくをお願いいたします。
はいどうぞ。

喜多村委員 北電ネットワークの喜多村でございます。ご説明ありがとうございます。
令和6年度の予算の概要については意見はございませんが、後年度の水道事業の効率的な運営という面から参考に発言をさせていただきたいと思います。以前もご質問させていただいた中で、水道メーターの検針というのが委託費に入っているということでお聞きしております。
この会議の中でもお話をさせていただいたと思うのですが、今、電気のメーターがどんどんスマートメーターという検針員さんが行くのではなくて、データを通信で集めてくるというのを進めておりまして、今年度末まで北電ネットワーク、北海道エリア内では、全てスマートメーターの設置を終えました。
実は4月1日からスマートメーターを活用した水道事業の検針サービスを正式に始めておりまして、25日にプレスリリースをさせていただいております。いくつかの自治体さんは、やはり検針員の人手不足ですとか、その他に合わせたサービスを検討するという観点から、導入を検討されてるというようなこともございまして、参考にお話をさせていただきます。
函館市企業局も確か実証されているということでお伺いしておりましたので、そういった意味では一つの参考になろうかと思ひまして、発言させていただきました。
以上でございます。

料金課長 料金課長の川井でございます。よろしくお願い申し上げます。
スマートメーターについては、3年くらい前から、研究、検討に入っております。とりわけ経費の問題というところでございまして、スマートメーターの導入コストというのが、アナログメーターの3倍から4倍くらいの費用がかかり、加えて通信費用等もありますので、各メーカーから色々とプランもいただきながら検討をしているところで、他の都市等が導入された際には、スマートメーターのコストが少しずつ下がってくると考えられることもあり、引き続き研究検討をさせていただきたいと考えているところでございます。
以上でございます。

三浦会長	よろしいですか。 この案件は以前にも同じような討論がありまして、事務局の方で説明したような状況であったと思います。 他の委員の方、ご質問ございますか。 それでは、ご質問ないようですので、次に函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理についてですが、本件については、前回の懇話会で、これまでの各経営ビジョンに係る企業局の取り組みの状況と評価について報告を受け、委員の皆様には、これまでの取り組みや今後の進め方に対する意見の提出をお願いしたところでございます。 それでは、事務局の方から報告をお願いいたします。
経営企画課長	経営企画課長よりご報告いたします。函館市上下水道経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理については、今回ご意見等ございませんでしたので、ご報告させていただきます。 以上です。
三浦会長	ただいま事務局から報告がありましたが、各委員からご質問等がございましたら、よろしくをお願いいたします。 とくに、書面での質問等がされなかったようですけれども、この場で何か思い当たることもありましたら、質問よろしくをお願いいたします。 はいどうぞ。
喜多村委員	北電ネットワークの喜多村でございます。 なかなかこのような機会がないので質問させていただきたいと思うのですが、函館空港の脱炭素という話を聞いたのですけれども、意外と空港だとか飛行機よりアクセスのCo2が結構出てるというような話を聞きました。 そういった意味では、観光の面でも電車が空港まで行くというところは脱炭素にもなりますし、観光の振興にもなるというところで話題になったものですから、そういったような検討が過去にあったのかというのを、ビジョンとはタイム感が違うと思うのですけれども、せっかくの機会なのでご教示いただければと思います。
三浦会長	その件に関しては、かなり詳細な見通しについての報告が、過去にありまして、これも継続でいらっしゃる委員の方は承知しているのではないかと思いますのですが、経済的な成立条件とか、いろいろな面での検討がかなり詳しく報告はされております。 もし、その辺のことで興味がございましたら、直接資料をお渡しするような形で、よろしいでしょうか。
交通部長	交通部長の小笠原です。会長からご説明がありましたように、過去に同じような趣旨でご質問があったと思います。 その時の発言の要旨を議事録にまとめたものがございますので、本日は発言いたしませんけれども、それを参考にとということでよろしいでしょうか。
喜多村委員	お手間かけますが、よろしくお願いします。
三浦会長	他に何かご意見ありますか。 ないようでしたら、各経営ビジョンの取り組みについては、懇話会として確認したということにしたいと思います。 次に、事務局から各経営ビジョンの進行管理に係る今後の流れについての説明をお願いいたします。
経営企画課長	経営ビジョンの進行管理に係る今後の流れについて、ご説明いたします。先ほどご報告させていただきました通り、ご意見等ございませんでしたので、企業局のホームページに前回懇話会で配付させていただきました資料のとおり公表いたしますことをご了承願います。 以上です。

3 その他

三浦会長	それでは、本件については終了いたします。 次に、次第3その他でございますが、事務局から報告事項があるとのことですのでお願いいたします。
経営企画課長	経営企画課長からご報告いたします。 本日、その他として6点ご報告させていただきます。 1点目は、能登半島地震に伴う応援活動についてです。 担当課長よりご説明いたします。
維持管理担当課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	次に2点目のご報告ですが、所要時分の見直しに伴う運行ダイヤの改正について、担当課長よりご説明いたします。
事業課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	続きまして、3点目のご報告です。 令和5年5月6日発生の市電脱線事故に係る原因と再発防止策について、担当課長よりご説明いたします。
事業課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	次に4点目のご報告です。 函館市電位置情報検索システムの導入について、担当課長よりご説明いたします。
事業課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	次に5点目のご報告です。 令和6年3月4日発生の市電脱線事故に係る概要について、担当課長よりご説明いたします。
事業課長	<資料説明 別添資料>
経営企画課長	最後に6点目のご報告となります。 函館市交通事業経営ビジョンの再改訂について、管理部長よりご説明いたします。
管理部長	管理部長の万丈でございます。 私から交通事業経営ビジョンの再改訂につきまして、ご説明いたします。これまで、令和4年度に改訂いたしました交通事業経営ビジョンに基づきまして、交通事業の経営に取り組んできたところでございますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、料金収入が計画を下回る状況となっていることに加え、電力料金や資機材価格の高騰など、想定を超える経営環境の悪化により、ビジョンの計画最終年度であります令和8年度末におきまして、多額の累積赤字が生じる見込みとなっております。 こうした厳しい経営状況のなか、運行ダイヤの見直しによる経費削減や、広告割引制度の見直しなどの増収対策に取り組み、経営改善に努めてきたところでございますが、今後におきましても、安全・安心な輸送サービスを維持し、安定した交通事業経営を持続していくためには、消費税関連の改定を除きますと、平成6年以来となります市電の乗車料金の改定が必要であると判断したところでございます。このため、現行の交通事業経営ビジョンについて、財政計画を中心に再度の改訂を進めたいと考えております。 なお、今後、令和6年5月を目途に、改訂素案を策定し、その後、経営懇話会委員の皆様などからご意見をいただき、パブリックコメントの実施を経て、本年9月を目途に成案化を図りたいと考えております。 以上でございます。
経営企画課長	事務局からのご報告は以上となります。

三浦会長 | ただいま事務局から報告がございましたが、各委員の皆さんから何かご質問等ございましたらよろしく願いいたします。
はいどうぞ。

黒瀧委員 | 皆さまご苦勞様でございます。黒瀧と申します。
能登半島地震に伴う応援活動について2点ほど質問させていただきたいと思います。今回、能登半島の応援ということで、派遣された方々については、大変苦勞されたかと思い、本当に頭が下がる思いで、ご苦勞様と言いたいところでございます。
そこで、ここに数字で記載されていますように、応急給水、応急復旧という2点の項目で、4名2班、延べ8名ですとか、もしくは3名3班、延べ9名ですとか記載をされておりますが、具体的にわからないところがあります。派遣された職員というのは本当に非常に高いスキルを持って現地の復旧作業に当たったと思われそうですが、ボランティアとは違って勤務で行っているということも含めると、派遣された職員が現地で体調壊されたとか、倒れられたということになりますと、2次災害ということにもなりますので、例えば、1週間に1回休みがあったのか、もしくは交代要員も含めて派遣されているのか、また、朝から晩まで夜通し復旧作業されていた職員もいるのでしょうか。
今回は復旧作業に行っておりますから、勤務の扱いはあまり詳しくは問いませんけれども、職員の体調が気になる場所ですので、その辺はどうだったのか2点ほどお聞きしたいと思います。

維持管理担当課長 | 維持管理担当課長よりお答えいたします。まず、応急給水につきましては、函館から給水車を現地へ運ぶということで、2日間かけて函館市から金沢市まで行っております。
この間については、時間外勤務という扱いではないのですが、翌日から1班目が5日間連続での勤務をしております。
5日間の勤務が終わった翌日には新幹線を使いまして函館に戻っているのですが、作業に穴を空けるわけにはいかなかったものですから、その前段に2班目が函館から新幹線で金沢まで乗り込んで、現地で1日引継ぎを兼ねて作業を同時に行っておりますので、応急給水班については連続5日間勤務という体制をとっております。
また、今回の活動につきましては、土日関係なく連続勤務ということで対応させていただいております。
応急復旧につきましては、移動日を除いて、現地での作業時間が7日から8日での勤務をお願いしております。
これも同じく移動に際しましては、新幹線で行く場合は1日、現地から車等を引き上げる場合は2日間ということで対応してございまして、参考ではございますが、応急給水班8名、応急復旧班9名の延べ17人なのですが、全体での時間外の日数時間数が860時間程度となっております。1人当たりの時間ですと、おおむね50時間となっております。
今回は、災害派遣ということでちょっと特殊な事情もあったものですから、総務部門と事前に協議をいたしまして、時間外勤務や勤務の取り扱いについて調整をして対応しております。
以上でございます。

黒瀧委員 | ありがとうございます。
1人当たり50時間の時間外勤務で、勤務地のことも含めましてお話をされたのですが、災害復旧なので、その辺のところはどうしようもないということもあると思いますけれども、職員の健康管理も含めて考えると、その辺はなるべく1週間以上の連続勤務ということになると、交代要員等の配慮ですとか、もしくは時間を極力抑えるですとか、労働組合とも話をしながら進めていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

三浦会長 | ほかにございますか。
ご質問等ないようですので、本件につきましては終了いたしたいと思います。
それでは、他に何か各委員の方からご提案ありますか。よろしいですか。ご発言もないようなので本日の会議日程は以上となります。
それでは進行を事務局の方にお返ししたいと思います。

4 閉会

経営企画課長

三浦会長、ありがとうございました。
以上で、本日の日程は全て終了となりますが、会議録につきましては、この後事務局にて案を作成し、後日、委員の皆様へ郵送させていただきますので、ご確認いただく形で作成してまいりますので、よろしくお願いいたします。
それでは最後になりますが、委員の皆様におかれましては、任期が令和6年5月31日まででございますが、現在のところ、任期中の会議の開催予定がございませんので、今回が最後の開催となる見込みでございます。
よろしければ、会長から一言お願いします。

三浦会長

それでは、私の方から一言ご挨拶させていただきます。現在の委員の皆様には、この間、約2年間ですが、献身的に会議へ参加していただきました。
私も非常に助けていただいた記憶がございます。
会長職を無事に務めることができましたのも、ひとえに委員の皆様のご協力のたまものと深く感謝申し上げる次第でございます。
皆様、本当にありがとうございました。

経営企画課長

三浦会長、そして両副会長はじめ委員の皆様には大変お世話になりました。
閉会に当たりまして、企業局長からご挨拶をさせていただきます。

企業局長

それでは、私から一言ご挨拶申し上げます。
皆様におかれましては、これまで、函館市企業局経営懇話会の委員として、様々な視点から、私ども企業局の事業運営に対する貴重なご意見などをいただき、厚くお礼を申し上げます。
ありがとうございました。
この2年間、企業局におきましては、上下水道ならびに交通事業を経営ビジョンに基づきまして、健全経営を目指し、市民や観光客の皆様へ安心・安全なサービスを提供するため、各種施策を実施してきたところであります。
しかしながら、先ほどご報告いたしましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、経営環境の悪化に対応するため、市電の乗車料金の改定が必要であると判断いたしました。令和6年度には経営ビジョンの再改訂を予定しているところでございます。
また、上下水道事業につきましても、今後、人口減少や老朽施設の増加、さらには災害対策の充実・強化など、厳しい経営環境が想定されるところであります。経営ビジョンで掲げる基本理念の実現に向けまして、企業局一丸となって、各種施策に取り組んでまいりたいと考えております。
皆様には、今後におきましても、それぞれのお立場から、企業局の事業運営に対しまして、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

経営企画課長

それでは、以上をもちまして、令和5年度第3回函館市企業局経営懇話会を閉会いたします。
ありがとうございました。